

特集

北秋田市・市内紹介

■森吉地区(旧森吉町)編

先号からシリーズで掲載している市内の各地区紹介。今回は、森吉地区(旧森吉町)についてご紹介いたします。旧森吉町の町名の由来は市の中心に位置する「森吉山」。県立自然公園となっている森吉山麓一帯は、クマガエラの棲むブナの森や名瀑、溪流、スキー場など多くの観光資源に恵まれています。また、森吉の水資源を生かし、周辺環境を守るための「森吉山ダム」が平成23年の完成を目指して工事が進められています。

■森吉地区の沿革

北秋田市森吉地区(旧森吉町)は、昭和の大合併で、旧米内沢町、旧前田村の1町1村が、31年9月30日に合併して誕生しました。町名は、なかなか決まりませんでした。当時の県地方課から小畑勇二郎知事に名付親になっていただいたのはどうかとの提案があり、依頼したところ、「秀峰森吉山を象徴して、新町名を森吉町と命名する」と返事があり、決定しました。

総面積は341.88平方kmで、東西34.2km、南北28.2kmにわたっています。人口は7629人(平成17年3月21日現在)の農山村地域です。

■森吉山県立自然公園

県立自然公園に指定されている森吉山麓一帯は、ブナの原生林や多数の瀑布など多くの自然が広がっています。特にブナの原生林には、天然記念物のクマガエラが生息しています。この原生林から流れ出した清らかな水は、地域を南北に貫通する阿仁川と、その支流の小又川となつて地域をうるおしています。また、初夏から秋にかけてゴウキスゲなどの高山植物が咲き誇り、登山者の目を楽しませてくれます。

太平湖は昭和28年に森吉ダムが完成したことでできた、周囲30kmの人造湖です。鯉やサクラマスなどが生息しており、シーズンには、大勢の釣り人が訪れます。

奥森吉案内図



▲桃洞渓谷

桃洞渓谷は、太平湖、小又峡の上流部、ブナ原生林を流れるノロ川の源流部にあります。この渓谷のシンボルである桃洞の滝まで1.3kmの遊歩道が整備されています。また、渓谷の上流部には、桃洞杉という秋田杉を主木とする原生林があり、国の天然記念物に指定されています。

▲三階滝

昭和43年に県の名勝及び天然記念物に指定された小又峡は、森吉山の東側山麓、ノロ川原生林に源を発しています。大小100を超える瀑布と罅穴、深淵から成り、全長は約6kmで、その内1.9kmにわたって遊歩道が整備されています。その遊歩道の最後の地点には名瀑として名高い三階滝があります。

(背景写真: 森吉山遠景~鷹巣地区から)

▲大自然の味わいと安らぎを提供する国民宿舎「森吉山荘」(☎76-2334)

▶妖精(トロール)の森コテージラウル(☎76-2107)は、アウトドアを楽しむ滞在型宿泊施設



▲太平湖(6月)

シリーズ 市内紹介



■浜辺の歌音楽館

明治26年に旧森吉町米内沢に生まれ、「浜辺の歌」「かなりや」などを作った作曲家・成田為三を記念して建てられた音楽館です。1階のリスニングルームでは為三の作品などを鑑賞できます。2階は成田為三との出会いのステージ。

自動演奏ピアノで為三が作曲した曲が流れる中、為三そっくりのロボットとカナリヤたちの会話やスライドで為三の業績を知ることができ、自筆の楽譜なども展示しています。また、定期演奏会も開催されています。

■力士・豪風(たけかぜ)



旧森吉町出身の豪風関は、平成14年5月場所を初土俵に同年9月場所まで新十両、15年3月場所まで入幕を果たし、最高位前頭5枚目となりました。その後、けがに見舞われ十両へ戻りましたが、平成17年5月場所では、番付も東前頭15枚目となり再入幕を果た

■豪風関プロフィール  
◇本名/成田旭◇所属/尾車部屋◇生年月日/昭和54年6月21日◇身長/172cm◇体重/143kg◇得意技/突き、押し  
しました。先場所から好調が続き、持ち味を十分に発揮しての活躍で大相撲の放映時間が待ち遠しく興奮の連続でした。

■森吉山麓たなばた火まつり

毎年8月7日、阿仁前田河川公園(秋田内陸線阿仁前田駅前)を会場に開かれる「森吉山麓村興し会」が主催するイベントです。夜空を彩る約1万発の創作花火や川面に映る火文字、炎と太鼓の競演など訪れた人を幻想の世界へ誘います。



■森吉山ダム(完成予想合成写真)

▼平成15年度「自然撮り」N森吉写真コンテスト  
最優秀賞「森吉山ダム工事現場の夜明」  
撮影者 山本登さん



昭和47年7月の大洪水を契機に計画された森吉山ダムは、中央コア型ロックフィルダムという形式で作られており、建設に必要な岩石の量はダンプカー約120万台分で、総貯水量は東京ドーム約63杯分にもなります。

平成23年完成予定で、6月4日にはダム建設地点で定礎式が行われます。

■阿仁前田獅子踊り



県無形民俗文化財に指定されており、慶長7年(1602)、佐竹義宣が水戸から秋田に国替えを命ぜられた折、主君を慰めると同時に家臣の志気を鼓舞するために演じられた道中芸が起源といわれています。  
毎年8月13日、午後7時より阿仁前田字八幡森の庄司家前、四季美術館前、前田小学校前で演じられます。